

平成23年7月1日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6
財団法人 日本環境衛生センター
理事長 奥村 明雄

平成23年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）の参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査の実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、模擬排水試料中のCOD等を対象とします。高等精度管理調査としては水質試料中の農薬（ジクロルボス等）及びその他項目（PFOS等）、土壌試料中のダイオキシン類を対象とします。本調査（環境測定分析統一精度管理調査）に関する詳細は、本調査のホームページ「<http://www.seidokanri.go.jp/>」をご覧ください。

環境省の依頼により、今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査への参加をお願い申し上げます。

平成23年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領
(地方公共団体、全国環境研協議会所属機関)

1. 調査試料

区分	名称	容器(内容量)	個数	備考
共通試料1	模擬排水試料 (一般項目分析用)	ポリリン瓶 (約500mL)	1	水溶液
共通試料2	模擬水質試料 (農薬等分析用) (注1)	2-1 ガラス製アンプル (約5mL)	2	アセトン溶液(注2) 農薬分析用
		2-2 ガラス製アンプル (約5mL)	1	メタノール溶液(注2) PFOS及びPFOA分析用
共通試料3	土壌試料 (ダイオキシン類分析用)	ガラス製瓶 (約30g)	1	乾燥した土壌で100メッシュ のふるいを通過したもの

(注1)共通試料2(模擬水質試料)は、高濃度に調製しているため、分析に際しては、必ず5(1)に示す希釈方法に従って分析用試料を作成する。

(注2)共通試料2(模擬水質試料)は、ふたつの試料があり、農薬(ジクロロポス及びフェノカルブ)分析では試料2-1、その他の物質(PFOS及びPFOA)分析では試料2-2を使用する。

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬排水試料(一般項目分析用)

試料中のCOD、BOD、ふっ素及びTOCの4項目を測定対象とする。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬水質試料(農薬等分析用)

試料中の農薬(ジクロロポス及びフェノカルブの2項目)並びにその他の物質(ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)の2項目)の4項目を測定対象とする。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

b. 土壌試料(ダイオキシン類分析用)

試料中のダイオキシン類を測定対象とし、次に示すポリクロロジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDDs)及びポリクロロジベンゾフラン(PCDFs)の異性体、ダイオキシン様PCB(DL-PCBs、"コプラナーPCBs(Co-PCBs)とも呼ばれる")の異性体及び毒性当量(TEQ)を分析する。

・PCDDs及びPCDFsの異性体

2,3,7,8-位塩素置換異性体(17異性体)とする。17異性体とは、PCDDs7項目(2,3,7,8-TeCDD、1,2,3,7,8-PeCDD、1,2,3,4,7,8-HxCDD、1,2,3,6,7,8-HxCDD、1,2,3,7,8,9-HxCDD、1,2,3,4,6,7,8-HpCDD及びOCDD)及びPCDFs10項目(2,3,7,8-TeCDF、1,2,3,7,8-PeCDF、2,3,4,7,8-PeCDF、1,2,3,4,7,8-HxCDF、1,2,3,6,7,8-HxCDF、1,2,3,7,8,9-HxCDF、2,3,4,6,7,

8-HxCDF、1,2,3,4,6,7,8-HpCDF、1,2,3,4,7,8,9-HpCDF及びOCDF)である。

- DL-PCBsの異性体

ノンオルト及びモノオルト異性体(全体で12異性体)とする。12異性体とは、ノンオルト4項目(3,3',4,4'-TeCB、3,4,4',5-TeCB、3,3',4,4',5-PeCB及び3,3',4,4',5,5'-HxCB)及びモノオルト8項目(2',3,4,4',5-PeCB、2,3',4,4',5-PeCB、2,3,3',4,4'-PeCB、2,3,4,4',5-PeCB、2,3',4,4',5,5'-HxCB、2,3,3',4,4',5-HxCB、2,3,3',4,4',5'-HxCB及び2,3,3',4,4',5,5'-HpCB)である。

- TEQ

PCDDs及びPCDFs、DL-PCBs並びにそれらの和とする。なお、TEQの算出に当たっては、毒性等価係数(TEF)としてWHO/IPCS(2006年)に提案されたものを用いる。

なお、分析方法(後記3.参照)には、「土壌のダイオキシン類簡易測定法マニュアル」(簡易測定法マニュアル)と「ダイオキシン類に係る土壌調査マニュアル」(土壌マニュアル)があり、「土壌マニュアル」の方法では、次に示す同族体等も分析する。

- PCDDs及びPCDFsの同族体とそれらの総和

四塩素化物から八塩素化物の各同族体とそれらの和とする。

- DL-PCBsの異性体の総和

ノンオルト体、モノオルト体とそれらの和とする。

3. 分析方法

(1) 模擬排水試料(一般項目分析用)

「排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法」(平成49年環境省告示第64号)に定める方法。ただし、TOCについてはJIS K 0102(工場排水試験方法)に定める方法(項目により異なりますが、滴定法、吸光光度法、イオン電極法等となります)。

(2) 模擬水質試料(農薬等分析用)

農薬(ジクロロポス等)については、「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について」(平成5年4月28日、環水規第121号、環境庁水質保全局水質規制課)に定める方法(ガスクロマトグラフ質量分析法になります)。

その他の物質(PFOS等)については、「要調査項目等調査マニュアル(水質、底質、水生生物)」(平成20年3月、環境省水・大気環境局水環境課)に定める方法(液体クロマトグラフ質量分析法となります)。

(3) 土壌試料(ダイオキシン類分析用)

「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境基準」(平成11年環境庁告示第68号)(詳細は、「土壌のダイオキシン類簡易測定法マニュアル」(平成21年3月、環境省水・大気環境局土壌環境課)又は「ダイオキシン類に係る土壌調査マニュアル」(平成21年3月、環境省水・大気環境局土壌環境課)による)(ガスクロマトグラフ質量分析法(GC/HRMS法、GC/QMS法及びGC/ITMS/MS法)になります)。

4．試料の配布時期及び分析結果の報告期限等

(1) 配布時期（予定）

9月上旬

(2) 報告期限（予定）

排水試料、水質試料及び土壌試料（ダイオキシン類：簡易測定法マニュアル）

：10月下旬

土壌試料（ダイオキシン類：土壌マニュアル）

：11月中旬

ただし、分析結果報告の方法（ホームページ又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、ホームページによる報告に比べて期限が1週間程度早くなります。

(3) 調査結果の報告（公開等）

- ・分析結果の報告期限の2月後程度に部分的な中間報告を予定しています。
- ・全体の中間報告は1月中旬程度を予定しています。
- ・分析結果を報告いただいた機関には、翌年度（時期未定）「調査結果報告書」（環境省編）を送付予定としています。

5．申込方法

申し込み方法には「郵送による方法」、「ホームページによる方法」があります。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記へ送付ください。

「ホームページによる方法」は、ホームページ「<http://www.seidokanri.go.jp/>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに記入してください。「機関コード」、「パスワード」のわからない機関（これまでに本調査に参加したことのない機関等）では、ホームページによる申し込みはできません。参加申し込みされた場合には、「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせします。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

(1) 申込期限 平成23年8月1日（月）（必着）

(2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
財団法人日本環境衛生センター
環境科学部 西尾
TEL 044-288-5130

6. その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

各機関の分析結果を公表（結果と機関名が対比できる表等を作成の上、公表）しますので、参加申込をいただいた機関については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

(3) 分析結果報告後の訂正受付不可

一旦受領した報告については、計算間違いや記述間違い等による訂正があっても受け付けませんので、ご了承願います。

(4) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

(5) ホームページによる分析結果報告の作成

環境測定分析統一精度管理調査ホームページを公開し、本調査に関する情報等を閲覧することができます（<http://www.seidokanri.go.jp/>）。参加機関は、当ホームページによる分析結果報告を希望する場合は、用紙による報告は必要ありません。ホームページによることが難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、用紙による報告の場合、ホームページによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

平成23年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(地方公共団体、全国環境研協議会所属機関)

機関名		
機関コード	(わかれば記入してください)	
所在地	〒	
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)	
担当者	所属	TEL () -
	氏名	FAX () -
希望する試料 (数字及び分析結果報告の方法を で囲んでください)	1. 共通試料1 (ホームページ、用紙)注1) (排水試料：一般項目分析用) 2. 共通試料2 2-1 農薬(ジクロロポス等)分析用 (ホームページ、用紙)注1) 2-2 その他の項目(PFOS等)分析用 (ホームページ、用紙)注1) 注2) 3. 共通試料3 (土壌試料：ダイオキシン類分析用)(ホームページ、用紙)注1)	
アンケート (参加する、参加しない、のうち該当する方を で囲んでください)	共通試料3(土壌試料：ダイオキシン類分析用)を希望された場合に、お答えください。 1. 「土壌のダイオキシン類簡易測定法マニュアル」による分析参加 (参加する、参加しない) 2. 「ダイオキシン類に係る土壌調査マニュアル」による分析参加 (参加する、参加しない)	

(注1) 分析結果報告の方法を で囲んでいない場合は、ホームページによる報告として取扱いますので、ご了承ください。

(注2) 試料2-2を申し込む時には「確約書」が必要です(別紙「確約書」に必要事項を記入後、送付してください)。確約書の提出がないと試料溶液の配布はできませんので、予めご了承ください。

財団法人日本環境衛生センター 殿

平成23年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

平成23年 月 日

機関名

印